

開講年次・時期	2年前期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	必修	授業形態	講義	単位数	2単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	LA120	科目名	日本語コミュニケーション演習	担当者名	田澤 恒行
授業の概要	日本語の表現能力を高めるために、文章作成の基本を学ぶ。また、名文、詩、短歌、俳句、川柳の鑑賞・創作・評価を通じて、自己表現能力を高める。				
科目の到達目標	正しい日本語表現の基本を習得する。美しい日本語を鑑賞することによって、表現のテクニックを習得する。短詩文藝(短歌、俳句、川柳など)を創作し、相互評価することによって、日本語表現の楽しさを学ぶ。				
DPの観点	②表現力 ⑤社会性 ⑨主体性				
授業時間外学修(予習・復習)	・課題作品の創作 ・資料プリントの復習				
フィードバックの方法	テーマにしたがって作品を創作し、相互評価を行う。(創作、評価のフィードバック)				
単位認定の要件	・授業中の学習意欲 ・創作、評価活動				
評価の方法・割合(%)	・授業内活動50% ・創作作品50%				
履修上の注意事項	・日常的に文藝作品に親しむこと				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			日本語表現について(講座のねらい)	②、⑤、⑨	講義、意見発表
2			正しい日本語表現	②、⑤、⑨	講義、意見発表
3			ビジネス文書・報告文書・コラムの表現	②、⑤、⑨	講義、意見発表
4			文章作成(スピーチ原稿を作成する)	②、⑤、⑨	文章作成
5			スピーチ演習	②、⑤、⑨	スピーチ(発表)
6			日本語のリズム 短詩文藝(短歌・俳句・川柳)の歴史	②、⑤、⑨	講義、創作、意見発表
7			短詩文藝に学ぶ① 詩	②、⑤、⑨	講義、創作、意見発表
8			短詩文藝に学ぶ② 短歌	②、⑤、⑨	講義、創作、意見発表
9			短詩文藝に学ぶ③ 短歌・合評吟	②、⑤、⑨	講義、創作、意見発表
10			短詩文藝に学ぶ④ 川柳表現の習得	②、⑤、⑨	講義、創作、意見発表
11			川柳演習(模擬句会/実作)	②、⑤、⑨	講義、創作、意見発表
12			短詩文藝に学ぶ⑤ 俳諧	②、⑤、⑨	講義、創作、意見発表
13			短詩文藝に学ぶ⑥ 俳句	②、⑤、⑨	講義、創作、意見発表
14			短詩文藝に学ぶ⑦ 俳句・合評吟	②、⑤、⑨	講義、創作、意見発表
15			日本語表現について(まとめ)	②、⑤、⑨	講義、意見発表
期末試験					

使用テキスト	資料プリントを配付
参考文献 参考URL	授業の進度に応じて、その都度指定します
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--